

浜松市の多文化共生施策

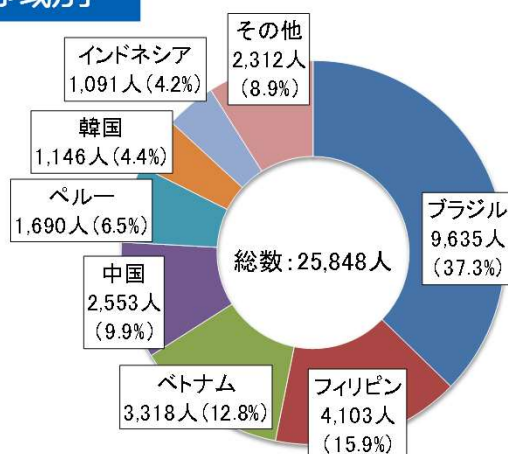


令和2年12月11日
浜松市企画調整部国際課

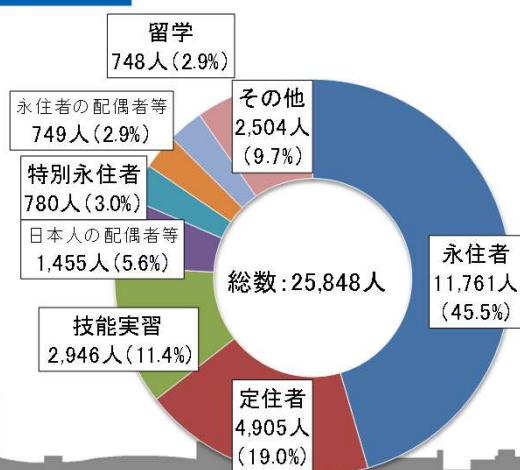
1. 浜松市の概況

- 約2万5千人の外国人市民が居住
- 特にブラジル人は9千人を超え、全国の都市で最多
- 2009年にブラジル総領事館開設
- 永住者等の長期滞在が可能な在留資格が7～8割

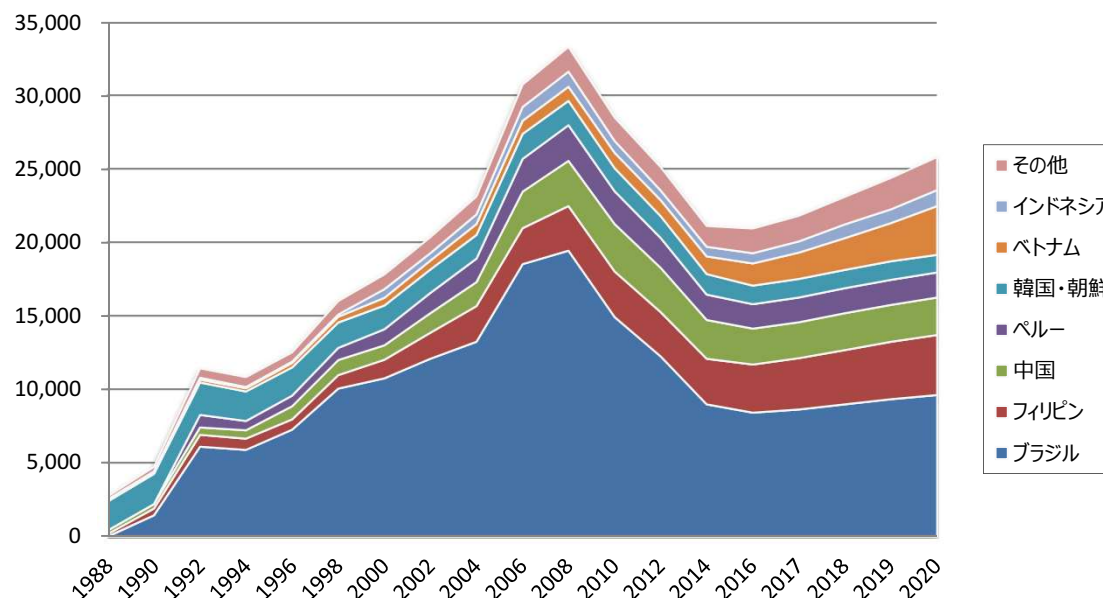
国籍・地域別



在留資格別



国籍・地域別推移



※2020年4月1日現在

2. 浜松市多文化共生都市ビジョン

第2次計画期間：2018年度～2022年度

目指す都市の将来像

相互の理解と尊重のもと、創造と成長を続ける、ともに築く多文化共生都市

目指す方向性

- 1 異なる文化を持つ市民がともに構築する地域【協働】
- 2 多様性を都市の活力と捉え、発展していく地域【創造】
- 3 誰もが安全・安心な暮らしを実感できる地域【安心】

重点施策

- ◇ 外国人市民のまちづくりへの参画促進
- ◇ 多様性を生かした文化の創造・地域の活性化
- ◇ 次世代の育成・支援
- ◇ 防災対策

施策体系 施策の分野		(取組)
1. 認め合い、 手を取り合い、 ともに築くまち 「協働」	(1) オール浜松での取組推進 ○多文化共生に携わる多様な関係機関等との連携促進 ○浜松国際交流協会を中核としたネットワーク強化 ○多文化共生優良事例の共有	(2) 多文化共生のための教育・啓発 ○国際理解教育の推進 ○多文化共生に対する理解促進
	(3) 交流機会の創出 ○相互交流イベントの開催 ○地域での交流促進のための支援 ○スポーツを通じた交流促進	(4) 外国人市民のまちづくりへの参画促進 (重点施策) ○自治会など地域コミュニティへの参画促進 ○外国人コミュニティや支援団体との連携強化 ○地域で活躍する外国人の紹介
2. 多様性を生かして 新たな価値・文化 を生み出すまち 「創造」	(1) 次世代の育成・支援 (重点施策) ○子供たちの国際感覚涵養 ○外国にルーツを持つ子供たちへの教育支援 ○学齢期を過ぎた外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援	(2) 多様性を生かした文化の創造 (重点施策) ○文化・芸術活動への参加促進 ○多様性の理解・尊重による新たな文化の醸成と発信 ○外国人が自らの文化を発信できる仕組みづくり
	(3) 多様性を生かした地域の活性化 (重点施策) ○地域社会で活躍する外国人材の受入れ ○外国人市民の活躍促進 ○多様性を生かした浜松の魅力発信	(4) 都市間連携の推進 ○国内の都市等との連携促進 ○インターカルチュラル・シティとの連携を通じた知見やノウハウの共有
3. 誰もが快適に 暮らせるまち 「安心」	(1) 防災対策 (重点施策) ○災害時多言語支援センターの体制整備 ○共生社会の防災力向上 ○多様な発信ツールを活用した情報提供と啓発	(2) コミュニケーション支援 ○日本語学習支援体制の充実 ○通訳・相談員の配置充実と育成強化 ○ICT等を活用した多言語情報の提供・「やさしい日本語」の活用
	(3) 地域共生支援 ○地域課題の解決に向けた支援と情報共有 ○地域ルールの理解や義務の遂行に向けた啓発 ○地域での相互理解を進める人材の育成と活用	(4) 安心な暮らしの確保 ○各種相談対応・情報提供の強化 (医療・福祉・保健・子育て・就労) ○居住に関連した各種情報提供による円滑な入居支援 ○安心した生活のための周知・啓発 (防犯・交通安全 等)

2. 浜松市多文化共生都市ビジョン

推進体制

オール浜松体制



■ 浜松市多文化共生推進協議会
多文化共生の推進に携わる各種団体・関係機関やコミュニティ代表らの参画を得て、多文化共生のまちづくりをオール浜松で推進（2012年度～）



■ 浜松市外国人市民共生審議会
外国人市民が市民生活を営む上での諸問題や日本人市民と外国人市民との共生の推進等について調査・審議（2008年度～条例設置）



■ 浜松市多文化共生推進功労者表彰
多文化共生社会づくりに積極的に取り組み、他の模範となる優れた先駆的・継続的な取り組みを行っている企業や団体、個人を表彰（2018年度～）

施策推進体系

■ 浜松市多文化共生センター

【主な事業】

- 多言語相談・情報提供

【多文化共生総合相談ワンストップセンター】

- 地域共生事業
- 多文化防災事業
- 人材育成事業
- 多様性を生かしたまちづくり
- 多文化共生理解促進・活動支援事業



■ 浜松市外国人学習支援センター

【主な事業】

- 日本語学習支援講座
- 日本語学習等支援者養成
- 地域日本語学習支援
- 多文化理解・交流事業
- 外国につながる次世代の学習支援

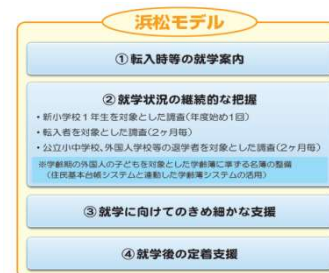


2. 浜松市多文化共生都市ビジョン

重点施策の主な取組

次世代の育成・支援

- 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業
- 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業



関係機関と連携しオール浜松体制で
外国人の子どもの不就学を生まない「浜松モデル」を推進



安全・安心なくらしのための防災対策

- 災害時多言語支援センターの体制整備
- 災害時多言語ボランティアの育成
- 自治会等と連携した多文化防災訓練



多様性を生かしたまちづくり

- 地域活性化事業（セミナー等の開催）
- 浜松カップ「フェスタ・サンバ」の開催
- 文化創造事業（自主活動支援等）



3. コロナ禍における取組

相談体制及び情報提供の強化・充実

＜多文化共生総合相談ワンストップセンターにおける相談受付状況＞ ※R1年度月平均相談件数 341件

年月	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
相談件数	554	717	1,020	780	676	612	557
(うちコロナ関連)	(263)	(356)	(550)	(292)	(208)	(67)	(68)

■多言語相談強化（5月下旬～）

言語	従前	拡充後
タガログ語、ベトナム語、中国語、スペイン語、インドネシア語	週1回	週3回
ポルトガル語	週6回	週7回
英語	週5回	



■多言語情報提供の充実（4月下旬～）

CANAL HAMAMATSU

浜松市公式の多言語生活情報サイト「カナル・ハママツ」

やさしい日本語

ふりがなを振る / 民すぽ

お知らせ

- ウイルスが広がらないようにするために大切なこと (2020/11/20)
- 特別定額給付金(10万円)の申請書を書いて送りましたか？ (2020/9/1)
- 特別定額給付金(10万円)の申請書を書いて送りましたか？ (2020/9/1)



→ 広報はままつを見る



3. コロナ禍における取組

日本語教室のオンライン化開始（対面式との併用）



※今後の対策長期化を見据え、オンライン授業の実施可能な環境を整備

※通常の対面式日本語教室は4～5月休講、6月から再開

外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業の拡充（9月～）

コロナ禍における不就学等就学に課題を抱える外国人の子どもが増加に対応するため、本市が推進する外国人の子どもの不就学を生まない取組「浜松モデル」事業を拡充

①就学支援教室の追加開設

これまでの2教室（雄踏教室、佐鳴台教室）に加え、新たな受け皿として1教室（駅南教室）を追加開設



+



②家庭訪問調査員や就学支援スタッフの追加配置

4. コロナ禍での課題の顕在化

- 外国人住民からの相談体制充実のための国等の専門機関との連携
- やさしい日本語を含めた多言語による緊急情報の提供体制構築
- ICTの活用をはじめとした、安定的かつ継続的な日本語学習支援体制の整備
- 不安定な労働環境下にある外国人労働者の安定的雇用の維持対策

